キャラクター名: 美空（みく）

プレイヤー名:

シンドローム	モルフェウス サラマンダー	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	干物姉（ひもね）系JK
オプショナル		年齢	16	性別	女
覚醒	無知	衝動	飢餓	初期侵食率	34 %
出自	親不在	経験	63（UGN）：古強者	邂逅	19：恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0		4	8
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	37
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	3	
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	4		情報：UGN	4	
運転：			芸術：			知識：機械工学	4		情報：噂話	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
IW	白兵	8r+4	3	12		2
IW:100%	白兵	8r+4	3	13		2
ｺﾏﾝﾄﾞ03：ｼｬﾄﾞｳﾘｰﾊﾟｰ	白兵	8r+4	3	28		2+3
コマンド03：１００％	白兵	8r+4	3	33		2+3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
専門家：レネゲイド	
専門家：機械工学	
コネ：UGN幹部	
コネ：噂好きの友人	
コネ：手配師	
メモリー：鳴宮沙月	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体	P	N		
妹：美羽	P 信頼	N 嫉妬		
テレーズ	P 有為	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	10	残り財産P：	5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ	2	2	Me					
効果：	C-Lv							
IW	5	3	Mi					
効果：	白兵武器作成							
咎人の剣	3	4	Me白兵					
効果：	IWでの攻撃時、ATK:[Lv*5]							
氷の回廊	1	1	Mi					
効果：	戦闘移動.							
クリスタライズ	3	4	MeSy				100	
効果：	ATK+[Lv*3]、装甲無視。シナリオ3							
スプリットアタック	1	4	MeSy				80	
効果：	対象をLv+1体に。シーン1							
温度調節	★		Me					
効果：	良い温度加減							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

高校生。華のJK.姓は仰木（あおき）、名は美空（みく）。
なのだが、本性はいわゆる干物女。
さばさばしているといえば聞こえはいいが、要はものぐさで男っ気がない。外出時は丸眼鏡にパーカー。
色恋沙汰があっても、愛想を尽かすか尽かされるかでほとんどは破綻する。
顔立ちは整っているため、化粧して着飾ればなかなかの美人になるのだが、本人は窮屈だからとやりたがらない。
それでも家では家事をそこそこ進んでやるのは、妹の美羽がいるからだろう。
料理を手伝っては、空いた手間で大好きな味噌汁を作らせようとする。

一人称は『アタシ』。二人称は『キミ』『アンタ』『お前』など様々。人による。
三人称は『あの人』『アイツ』など。
『～ッス』『～ッスか』が口癖。
好きな食べ物は美羽の作る味噌汁とソフトクリーム。
嫌いな食べ物は辛いもの。激辛食べるとかドMなんスか？とは彼女の弁。

高校に通ってはいるが、UGNとしての仕事に追われているため出席日数はよくなく、友達も少ない。
美羽という身近な理解者や仕事仲間もいるため割りきっているが、そんな達観した雰囲気からかあまりよくない噂が流れることも。
UGNの仕事を主な生活資金源としており、任務においては大鎌を錬成して戦う。
サラマンダーシンドロームでもあるものの、ほとんどモルフェウスの純血。
精々機械の冷却ができる程度だが、本人はそれを活用し、錬成した大鎌のニトロブースターの安定化に役立てている。
Dロイスの実験体だが、さして重い経歴があるわけでなく、大鎌の試作、テストを自分一人で繰り返しており、その結果編み出された独自の錬成方法と体術がそう呼ばれているだけである。
・・・少なくとも、本人はそう思っている。